

◆静岡県と遠隔地の都道府県・全国との旅客流動量

(単位：千人)

【航空】		平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成12年度 補正後
静岡県⇄	北海道	330.7	370.9	230.0	487.1
静岡県⇄	福岡県	96.5	60.6	78.7	79.6
静岡県⇄	鹿児島県	68.1	85.1	70.8	111.8
静岡県⇄	沖縄県	132.0	69.1	155.2	90.7
静岡県⇄	全国	989.5	962.2	876.3	1,263.6

(単位：千人)

【全機関】		平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成12年度 補正後
静岡県⇄	北海道	483.3	440.3	252.8	509.9
静岡県⇄	福岡県	481.7	193.9	377.6	378.5
静岡県⇄	鹿児島県	99.4	107.1	78.4	119.4
静岡県⇄	沖縄県	143.9	69.1	159.3	94.8
静岡県⇄	全国	127,649.7	97,442.2	93,906.2	94,293.3

◆静岡県と遠隔地の都道府県・全国との旅客流動量
 ＜インターネット公開版（国の修正後）＞

（単位：千人）

【航空】		平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成12年度 補正後
静岡県⇄	北海道	338	376	247	487
静岡県⇄	福岡県	102	61	94	80
静岡県⇄	鹿児島県	68	96	73	112
静岡県⇄	沖縄県	134	89	87	91
静岡県⇄	全国	1,116	1,070	914	1,264

（単位：千人）

【全機関】		平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成12年度 補正後
静岡県⇄	北海道	395	490	339	510
静岡県⇄	福岡県	350	181	399	379
静岡県⇄	鹿児島県	73	120	83	119
静岡県⇄	沖縄県	134	90	89	95
静岡県⇄	全国	91,499	96,106	94,275	94,293

【航空輸送統計年報による全国の航空旅客の推移】

(年間値、単位：千人)

	S60	S62	H1	H3	H5	H7	H9	H11	H13
全国航空利用者	43,766	50,045	60,120	68,687	69,584	78,101	85,554	91,590	94,579
(伸び率)	-	14.3%	20.1%	14.2%	1.3%	12.2%	9.5%	7.1%	3.3%
うちローカル線	26,808	29,918	36,014	42,603	44,487	50,971	55,087	56,089	56,469
(伸び率)	-	11.6%	20.4%	18.3%	4.4%	14.6%	8.1%	1.8%	0.7%

(単位：千人、%)

年度	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6	H 7	H 8	H 9	H 10	H 11	H 12	平均
全国	65,252	68,687	69,687	69,584	74,547	78,101	82,131	85,554	87,910	91,590	92,873	-
伸び率	8.5%	5.3%	1.5%	-0.1%	7.1%	4.8%	5.2%	4.2%	2.8%	4.2%	1.4%	4.1%
ローカル	39,646	42,603	44,081	44,487	48,224	50,971	53,639	55,087	55,434	56,089	56,189	-
伸び率	10.1%	7.5%	3.5%	0.9%	8.4%	5.7%	5.2%	2.7%	0.6%	1.2%	0.2%	4.2%

出典：航空輸送統計年報（国土交通省）

○ H 2 ⇒ H 1 2 で 4 2 . 3 % の増加

(ローカル線でも 4 1 . 7 % の増加)

特異値

【航空旅客動態調査の推移】

(1日集計値、単位：人)

	S60	S62	H1	H3	H5	H7	H9	H11	H13
静岡県発着	711	1,202	1,567	2,144	1,564	2,139	1,714	1,362	2,072
全国計	70,730	100,191	117,874	142,280	129,380	166,586	153,370	151,406	181,054
構成比	1.01%	1.20%	1.33%	1.51%	1.21%	1.28%	1.12%	0.90%	1.14%

【全国幹線旅客純流動調査(航空)】

	(H12 補正前)	H2	⇒	H7	⇒	H12
静岡県発着		990	3%減	962	9%減	876
全国計		62,338	17%増	72,912	25%増	91,352
構成比		1.59%		1.32%		0.96%

○静岡県の航空旅客：H 2 ⇒ H 1 2 で 1 1 . 5 % の減少

※全国幹線旅客純流動調査の航空旅客数は、航空乗り継ぎ分を削除しているので、航空輸送統計年報よりも数値が異なる（小さい）。